

令和元年度 学校評価について

船橋市立習志野台第二小学校

1 はじめに

各項目は、すべて4段階

(4: そう思う 3: どちらかと言えばそう思う 2: どちらかと言えばそう思わない 1: そう思わない)

そこで、肯定的評価(「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」)が90%以上の項目は「できている」、80%未満の項目は本校の課題としてとらえています。

2 保護者の評価から

(1) 令和元年度

全21項目の内、14項目で肯定的評価が90%以上で、全般的には良い評価をいただいております。

☆肯定的評価が80%未満の項目は、

No. 10「習二小は清掃が行きとどき、良い環境で生活している。」が77%(昨年度66%)で、特にトイレに関する厳しい意見をいただいております。

☆今年度の指導の重点目標に関する項目では、

①基本的な生活習慣・態度の育成 (No. 8)「習二小の児童たちには、発達段階(学年)に応じた挨拶が身についている。」が83%(昨年度80%)

②学力の向上 (No. 5)「習二小の児童たちには、発達段階(学年)に応じた学力が身についている。」が91%(昨年度90%)

③信頼される安心・安全な学校 (No. 19)「習二小は、避難訓練・引き渡し訓練等、児童の安全確保に努めている。」が97%(昨年度97%)となっています。

(2) 昨年度との比較

昨年度と平均値は同じ(3.2)で、全体としては大きな変化はありませんでした。

評価が上がった項目としては、

①No. 7「習二小の学習環境・設備は良く整っている。」が(昨年度78%→今年度84%)

②No. 10「習二小は清掃が行きとどき、良い環境で生活している。」が77%(昨年度66%)であるが、80%を下回っています。

評価が下がった項目としては、

③No. 9「習二小の児童たちは、発達段階(学年)に応じた道徳心が身についている。」が(昨年度92%→今年度86%)

④No. 17「習二小の職員は、日常生活の中で児童たちの話(相談)をよく聞いてくれる。」が(昨年度90%→今年度88%)

⑤No. 18「習二小の職員はいじめの早期発見・再発防止によく取り組んでいる。」が(昨年度89%→今年度87%)でした。

(3) 評価への対応

(1) について

○トイレへの要望が多いところですが、来年度に改修される予定となりました。今後は、清掃の仕方や使用方法をしっかりと指導して、きれいな状態を保っていけるようにしていきたいと思います。

○本校の児童の様子を見ていると、学校内での教職員や来校者へのあいさつはできていますが、登下校などの外ではできていないようです。今後も、ご家庭と協力して取り組んでいきたいと思います。

(2) について

○No. 17と18は評価が2%と若干下がっていますが、この2%は大きいととらえて考えていきたい課題です。

○No. 9は、いじめについての対応やあいさつについての意見をいただいております。

3 教職員の評価から

(1) 令和元年度の課題と取り組み

評価平均が3以下の項目は4項目

2-⑦ 2.9 「地域の特色（住環境・産業等）や人材を活用した教育課程になっていたか」

3-⑥ 2.5 「TT、グループなど少人数指導の工夫改善はなされたか」

3-⑦ 2.9 「実践的コミュニケーション能力を育成する英語教育が推進されたか」

4-④ 2.9 「黙動等、清掃指導に努めたか」

2-⑦・3-⑥については学年の教科年間計画に位置付けられていたり配置されていたりするかで評価が変わってくるので、一概に低評価とは言えませんが、2-⑦は工夫を進めていきたいと思えます。

3-⑦については来年度より学習指導要領が改定されるので、さらなる教職員の研修を深めていきたいと考えています。

4-④は校舎が古いこともありますが、教職員と児童が協力して取り組んでいきたい課題です。

4 来年度に向けて

学習面において、No. 1、4、5ともに保護者の皆さまから高い評価を得ております。来年度につきましても、全国学力学習状況調査の結果を考察して、日々の教科指導に生かしていきたいと思えます。

清掃指導やあいさつなど基本的な生活習慣については、今後ともご家庭と協力して取り組んでいきたいと思えます。

また、家庭学習や給食指導等、児童の発達段階を考慮しながら学年・学校全体で統一できることがないか、話し合いを進めていきたいと思えます。

運動会、授業参観、校外学習など学校行事については、行事の内容や取り組み方等、児童にとってより良い内容になるように工夫していきたいと思えます。

自由記述欄には、教職員に対するたくさんの温かいお言葉をいただき、たいへん感謝しております。子供たち、保護者の皆さま、地域の皆さまの信頼をさらに得られるよう、教職員全体で職務に向かい合っていきたいと思えます。

今後とも、ご理解・ご協力をお願いすると共に、何かご意見がございましたら、いつでもご連絡いただければありがたいです。